

# ガイドライン作成、最終段階

## 年度内完成へ

### 再生石膏粉の有効利用 ガイドライン策定委員会



各章の内容を精査した

廃石膏ボードのリサイクル率向上を目的とした「再生石膏粉の有効利用ガイドライン策定委員会」における再生石膏粉の有効利用ガイドライン作業部会（第3回）が2月14日に行われた。

2017年3月、(国研) 国立環境研究所を主たる研究機関として「廃石膏ボードリサイ

クルの品質管理の在り方と社会実装」が環境研究総合推進費として採択され、現在、研究テーマの一つであるガイドライン策定に向けて、準備が進められている。委員会で議論される素案の作成については作業部会で行っている。

当日は、これまでに策定委員会や全国石膏

ボードリサイクル協議会が出た意見も踏まえ、それぞれの章ごとの担当者が作成・修正した案を読み合わせ、意見を交換した。国立環境研究所の遠藤和人氏はガイドラインの役割を「規制が目的ではなく、適正処理をするための一つの教本」としたうえで、ガイドライン内の表現を「望ま

しい」とするのか「考慮すること」でとめるのかなど、細かなユアンスの確認なども行われた。

年度内の作業部会の開催は今回が最後となり、指摘事項を踏まえ修正された素案を第2回策定委員会で最終確認し、今年度中に初版を完成する予定。